



柳井電機工業株式会社

営業活動の「見える化」でDX推進に貢献

【利用期間】2020年10月～2025年09月まで
※この事例に記載された情報は2021年1月時点のものです。
詳細についてのお問い合わせは弊社までご連絡ください。

柳井電機工業株式会社は社会インフラ（水道）・プラント・空調・ロボットSI・ドローン画像解析を軸に、顧客のニーズに合わせた製品の取り扱い、保守・運用サービスを提供している。

DXを推進する様々な取り組みを積極的に進めている同社においても本プロジェクトは挑戦的なプロジェクトであった。その目的は“業務の見直し”や“工数に対する意識改革”であり、そのために各営業活動の工数を可視化し分析する必要があった。

プロジェクトは試行錯誤しながら進んでいくことが予想され、変化するニーズにも対応可能な柔軟なシステムが求められていた。



内製したスマホアプリとSFAツールの活用イメージ

課題 1

営業工数分析に必要な活動報告の収集

営業活動報告は各営業がSFAツールへ登録していたが、業務報告が中心で活動工数の記録をしていなかった。各活動の工数を分析するために、業務開始時刻と終了時刻の記録を素早く記録できる活動報告システムが求められた。

課題 2

SFAツールを用いた分析結果の可視化

営業工数分析及び可視化をSFAツール上で行うため、SFAツールと別システムで入力された業務時間（工数）を連携する仕組みが必要であった。

課題 3

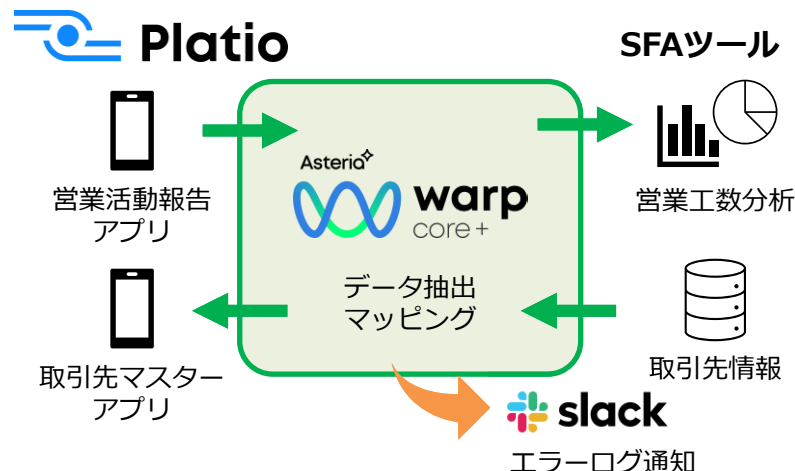
開発工数を最小限に

運用開始までの期限は2か月、開発担当者は1名、と制約条件が非常に厳しかった。そのため活動報告のシステム構築やデータ連携処理の開発工数を最小限にすることが求められた。

導入効果

- **Platioで自社にあわせたアプリを簡単作成**
ワンタップで業務開始時刻や終了時刻の登録ができ営業が入力しやすい自社専用アプリをノーコードで簡単に作成。システム構築せずに各業務の工数が記録可能に。
- **活動工数可視化により、営業意識を改革**
営業工数が明確にすることで、想定より工数のかかる業務や時間配分の見直し・改善を促進。
- **3日でPlatioとSFAツールの連携が完了**
PlatioアダプターとSFAツール専用アダプターを利用することで直感的に連携処理が作成でき、アプリ項目変更にも迅速・柔軟に対応。
- **ノーコードで業務効率化を拡大**
販売管理システム連携やSFAツールのオブジェクト間連携など、利用用途をさらに拡大し業務効率化を推進。

連携の概要



「営業活動報告連携」では例えばこんな処理をしています。



お客様から一言

ASTERIA Warp Core のココがGood!



総務部 総務経理Gr.
吉津 美和様

クラウドサービスの導入が増え、各サービス間や既存システムとの連携ニーズは多くありますが、コーディングによるデータ連携では開発工数がかかり、負担に感じていました。Coreでは、データ取得からマッピング、データ登録まで、ノーコードであつという間に連携処理が作成でき、驚きました。いろいろな用途に活用できるので、今後はカレンダーやファイルストレージなどとも連携して業務改善していきたいです。